

## 喫煙防止教室の授業を受けました(1月28日)・・・6年生

学校薬剤師の金澤さんをゲストティーチャーにお迎えして、「喫煙防止教室」と題して喫煙が体に及ぼす悪影響について授業をして頂きました。



### 〔児童の感想〕

○私は、もともとタバコが体に悪いと思っていたのですが、今日の授業で本当にタバコは体に悪いものだと感じました。タバコを吸うことで、約42種類の病気にかかってしまうと知りました。そして、タバコは周りにも悪いいきょうをあえるということも分かりました。この授業を通して、周りにタバコを吸っている人がいたら、タバコについて話して、やめてもらうように努力したいです。

○タバコは自分だけではなく周りにも害をあたえてしまうので、仲のいい友達や先輩などから「タバコを吸ってみない？」などとさそわれても絶対に断るようにしようと思いました。それに、周りにタバコを吸っている人がいたら、やめるように言いたいと思いました。

○今日の授業で、さらにタバコのこわさについて分かりました。タバコを吸うと肺や歯だけではなく、胃や心臓、脳、皮膚、骨などにも害があり40種類以上の病気になると知ってびっくりしました。また、主流煙よりも副流煙の方がより有害で、タバコを吸っていない人でも受動喫煙によって病気になることが分かりました。だから、自分や他の人の健康のためにも「はじめの一本」に手をつけないでタバコを吸わないかっこいい人になりたいと思いました。周りにタバコを吸っている人がいれば、禁煙のサポートをしてあげたいです。

○今日の授業で、タバコを吸っている人も周りの人も、タバコの害があるのだと知りました。タバコには危ない病気がたくさんあると分かりました。もし、友達からタバコを吸うようにすすめられても、私ははっきりとことわりたいです。また、周りにタバコを吸っている人がいたら、タバコには害があるのだと教えてあげたいです。大人になっても、タバコを吸わないようにしたいです。